

**(株)岩崎書店**

子どもばかりでなく、大人にも感動を与える絵本  
『自由・平等・博愛』の創業者理念が受け継がれる老舗児童図書出版社

取材・構成 ● 西原勝洋

経済評論家

出発は慶應大学近くの社会科学系古本屋だった。太平洋戦争が終わり、焦土と化した日本を目のあたりにした創業者岩崎徹太は「これからの民主主義の時代に新しい日本を築いていく子どもたちのために本をつくり、たくさん読んでもらい、広い知識を持って、新しい国を作ってもらおう」と考えた。この時「子どもの本の岩崎書店」がスタートした。

### ■ 戦中は治安維持法違反、戦後は国家主義者としてパージ

創設者の岩崎徹太は、早稲田大学政経学部を卒業して通信省入りののだが、昭和初期の大不況の下で、官吏の俸給を一律1割カットするという政府方針に反対する闘争のリーダーとなったため、臧首されてしまった。

その後、徹太は妻の治子とともに、慶應義塾大学の傍に小さな店を借り、そこに自分の蔵書2千冊を並べて社会科学専門の古本屋を始めた。蔵書2千冊が資本金だったわけだ。店は角店で、柱や本棚、本台、窓枠などはすべて銀ネズミ色のペンキで塗り、当時の古本屋としてはとても明るい感じだった。そんな店の雰囲気とは裏腹に、社会科学専門の古本屋ということで当時の進歩的な

人たちが唯研グループ（唯物論研究会）のメンバーなどがよく集まっていた。おのずと当時の悪名高い特高の監視下に置かれ、「フタバ書房」という屋号だったが、慶應大学関係の常連客たちは『発禁堂』と呼んでいた。

1934年には「株式会社慶応書房」と改め、出版事業に乗り出した。同年刊行したM・ヨールソン著、永住道雄訳の『資本主義貨幣制度論』が処女出版物だった。

有斐閣の社長だった江草四郎氏は、「彼が出した数多い左翼出版物は1冊も発禁にならなかった」と述べ、続けて「ところが、実に不思議なことは、右翼も右翼その大物の大川周明の『近世欧羅巴植民史』も出版した。大川周明と岩崎君の結びつきはまったく想像を超えた人間的なものであったとしか思われない」との文



岩崎 弘明 (いわさき ひろあき) 代表取締役会長  
● 昭和15年1月神奈川県生まれ。昭和53年慶應義塾大学商学部卒。代表取締役社長を経て、平成21年9月、代表取締役会長に就任。

章を残している。

しかし、反戦運動のかどで出版社関係者が数多く検挙された横浜事件と時を同じくして、徹太も43年には、治安維持法違反で検挙されてしまった。8カ月の拘留の後「出版活動はしない」旨の誓約書に署名して釈放されたが、慶応書房は「戦時企業整備」という名目でつぶされ、閉鎖となった。

戦後すぐに岩崎書店として再出発し、ローゼンベルグ著、及川朝雄訳の『哲学小事典』を手始めに、宮本顕治の『人民の文学』、浅丘次郎著『進化論講話』など話題の著書を次々に刊行した。



書棚の上には創業者岩崎徹太の写真

徹太は時代を先導する出版人の喜びを実感し、本の街・神田神保町に移転して本格的に出版活動した矢先、今度は、GHQにより公職追放G項(その他の国家主義者) パージを受けてしまった。

戦前に慶応書房が刊行した木下平治の『日本国家主義運動史』、加田哲二の『日本戦争論』が占領軍の忌避に触れたのである。しかし、ここでも徹太の人間性が垣間見えるエピソードが残されている。「泣く子も黙るGHQ書籍検閲部最高責任者ヘンリーに対して自然体で堂々と意見を述べたのは徹太だけであった。ハーバード大出身で知日派であったヘンリーは岩崎徹太に対して尊敬と親しみをこめて「テッタ」と名前を呼び、ココロラをふるまった唯一人の出版人であった」と、ヘンリー氏の日本人秘書が後に書いている。

## ■ 二人三脚で児童図書出版へと舵を切る

公職追放が解除されて岩崎書店に戻ると、徹太は児童図書出版へと大きく舵を切った。編集長は妻・治子で、夫人が3人の子どもの手も離れてきたので出社し、就任した。

治子夫人は「米国の占領下で思想物はやりにくい。教育指導要領を読むと、理科では『観察と実験』が柱になっている。米国の教科書を見たところ、フルカラーの図や写真がたくさん載っていた。これだと思い、A5版64ページで、左ページはフルカラーの図や写真。これまでの日本にはなかったタイプの児童向け理科参考書『観察と実験文庫』は全100巻完結した。その他辞典類、図説を主とした理科もののシリーズをいくつも出版した。特に図

説は岩崎書店の代表的出版物となった。

その後、絵本も出版し始め、『花さき山』（斎藤隆介作、滝平二郎イラスト、69年）や『モチモチの木』（斎藤隆介作、滝平二郎絵、71年）等の話題絵本を世に出した。両書は43年後の今日も売れ続けるミリオン・ロングセラーだ。

徹太はこの間に、日本児童出版協会を設立して初代会長に就任し、児童書の学校図書館への普及・充実、日本出版クラブ、日本書籍出版協会の設立にも参加し、出版業界全体の振興に奔走した。

治子は53歳の時、「私には、もう子どもの気持ちが変わらないし、子どもを育てる母親の感覚の違いを感じる」と言い、児童図書

「後々に残る仕事をした」と、かねてより好きであった美術書を出版する岩崎美術社を設立し、その後の美術書ブーム以前に、当時としてははめずらしい豪華美術書、『桂離宮』や『鳥獣戯画』などを数多く出版した。また20年の歳月をかけて『民俗芸双書』全百巻を刊行するなど、日本出版史に大きな足跡を残した。

岩崎書店と東京都民銀行とのつながりは、神田支店が開設された時以来だ。戦前に、慶応書房が刊行した岡庭博著『戦時下の中小企業金融論』に、当時、



岩崎書店の「ロングセラー&ベストセラーえほん」(一部)



ベストセラー「ペネロペ」シリーズの主人公の原画

日本興業銀行の調査部長だった工藤昭四郎氏が序文を書いた。

その工藤氏が、戦後発足した東京都民銀行の初代頭取に就いた。そのような経緯もあり、徹太は神田支店開設に多大な協力をした。東京都民銀行神田支店の初代支店長加藤定雄氏は、岩崎徹太の追想文に「出版界について全くの素人の私に、まっ先に援助してくださったのは岩崎さんだった。暗夜に灯台を見た気持ちだった。出版界の現状、取引の実情など事細かに教えていただいた。丙種産業として金融界から軽視されていた出版業に敢然と立ち向かう勇気を与えてくださったのは岩崎さんだった」と書いている。

### ■ 理念の上にもこそ開化した海外体験

78年何気なく受けた健康診断で肝硬変と診断された徹太は、入院を繰り返した後80年、帰らぬ人となった。80年代の出版業界は96年のピークに向けて上昇気流に乗りつつあった。

徹太亡き後の岩崎書店は業界全体と歩調を合わせた業容拡大とはいかず、90年に入っても相変わらずで、ついには母親・治子が「岩崎書店が危機に陥っている」と3人の息子に訴えざるを得ないような状況にまでなっていた。が1、2男はともに学者の道を進んでいて、出版には興味がなく、狭い日本を離れ、広大な台地に憧れ、カナダ、アメリカとで永住権を取得し、当時は米国で小さな

商いをしていて3男の弘明氏もただ「頑張っ

ね」と無愛想な返事をするのみであった。しかし、それから3カ月後の92年10月、母治子は肺がんのため81歳で永眠した。葬儀のために帰国し、治子が残した日記を読んだ弘明氏は



「私が愛する母を苦しめたのは誰だ、母のためにもこの会社を立て直そう」と決心し、家族をロスに残した「単身赴任」で再建に向けた奔走を開始した。

意気込んでみたものの「米国帰りの門外漢」は社内で相手にされず、かつ父親が作り、母親が育んだ岩崎書店のガバナンスたるや惨憺たるものであった。しかし、岩崎書店にはシリーズ物のロングセラーがいくつもあった。先代の遺産だ。今では珍しくなくなった「飛び出す絵本」も、徹太がチェコで見つけ、現地で作ったものを出版したのが、「日本の飛び出す絵本第1号」なのだ。

これら遺産の上に、商学部を卒業し、米国で日本大手自動車会社の駐在員で得た鍛え抜かれたマーケティングセンスと、海外移住で育んだ起業家精神で、岩崎書店の改革を行っていった。

毎年3月にはイタリアで児童図書博覧会、5月にはニューヨークで、10月はフランクフルトで世界的なブック・フェアが開かれる。このような機会や現地の本屋さんをまわり、かの地で評価の高い児童図書を見つけては、日本の子どもたちに紹介した。これは英語が堪能で、海外生活が長く、異文化の中での交渉にもたけていなければできない芸当だ。世界的に話題になった宇宙物理学者ホーキング博士と娘(ルーシー)との共書『宇宙の秘密』シリーズ、米国の人気ミステリー作家ジョン・グリシャムの初めての児



ホーキング博士のスペース・アドベンチャー『宇宙への秘密の鍵』



ポップアップ絵本 (飛び出す絵本) 『星の王子さま』



童書『少年弁護士セオの事件簿』等の熾烈な版權獲得合戦の中での成果は、その良き例である。一方、『聴診器で遊ぼう』や『Mr.Childrenの詩集』『優しい歌』などの出版業界の常識を破る作品は、他産業にいたが故の発想の賜物である。

「本や文学に詳しくなくても、編集を知らなくても、経営は別物。おまえがやろうと思えばできます——そう言った母の言葉が様々な困難に立ち向かわせてくれた」と語った弘明氏。自由・平等・博愛の精神をバックボーンに、「将来この国を担う子どもたちのための本作り」「紙の本のブランドイメージ向上」を第二創業の理念とする岩崎書店。弘明氏は「元厚生労働省の木村厚子氏が郵便不正事件の無実の罪で拘留された164日間で、勇気づけてくれた150冊」からのベスト10冊に選んだ岩崎書店刊「花さき山」など、子どもだけでなく大人にも感動を与え、勇気と希望を与えてくれる絵本、そのような児童図書づくりを永続させるべく姪の夫を説得して後継者として迎え、「取締役図書館営業部長」として鍛えている最中だ——と力強く結んだ。(にしはら かつひろ)

- 代表取締役会長 岩崎弘明
- 創業 昭和9年 ■ 設立 昭和23年10月
- 資本金 3000万円 ■ 従業員 33名 ■ 売上高 23億円
- 事業内容 児童図書出版
- 本社 〒112-0005 東京都文京区水道1-9-2
- TEL 03-3812-9131 (代)
- <http://www.iwasakishoten.co.jp/> (東京都民銀行神田支店会員)